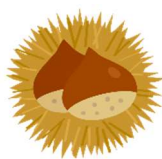


宮 通 信



めざす児童像

☆ 向上心をもってがんばる子

☆ 心が豊かでやさしい子

☆ 心身共に明るく健康でたくましい子

「家族で“読書の秋”を楽しもう」

校 長 川畑 豪則

朝晩こそ涼しさを感じ、虫の鳴き声にも秋の気配を感じるこの頃です。しかし、日中は、日本各地で最も遅い猛暑日となるなど、厳しい残暑が続いています。そのような中、先日は授業参観・懇談会に多数ご出席いただきありがとうございました。夏休みを挟み、成長しているお子さんの学校での様子を見て、感じ取られ、ご家庭に帰ってから称賛の声をかけられたおうちもあることと思います。10月に入ります。引き続き、学校と連携し、お子さんの成長に向け、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

これからは、過ごしやすい時期を迎えます。このよい時期に、家族で読書に取り組んでみてはいかがでしょうか。先日、文化庁が発表した「国語に関する世論調査（対象：16歳以上）」では、スマートフォンなどの利用時間が増えたことで読書する機会が減った人の割合が、5年前の調査と比べ大きく増えたと報じられました。本校では、学校図書館ボランティアさんの力も借りて学校図書館を充実するとともに、朝の掃除が終わった子から各学級に戻って読書を楽しむことにしています。“読書の秋”と言われるように、秋を感じながら本に向かうと、心が落ち着き、やさしい気持ちが顔を出してくれます。

毎月第1土曜日は「うちどく（おうちで読書）」の日（和歌山市教育委員会設定）となっています。まず月1回からスタートし、毎週土曜日が「うちどく」の日となればすてきですね。家族の事情や子どもの発達段階に応じて、30分から1時間程度、テレビを消して、デジタル機器を触るのをやめて、家族一緒に読書をしてみてください。

読書は、新しい知識や情報を与えてくれるだけでなく、心を豊かにし、未知の世界やものごとに対する想像力をかき立て、新鮮な感動を呼び起こしてくれます。特に、子どもにとって読書は、成長する過程で言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深くするとともに、生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。子どもが読書習慣を身に付けるためには、学校での取組（図書の時間・読書タイム・絵本給食等）はもちろんのこと、家族のはたらきかけも必要です。家族で本の話をしたり、本を読む姿を見せたりすれば、子どもは読書に関心をもつことでしょう。さわやかな秋風が吹く季節に、「家族で“読書の秋”」を楽しんでください。

【テレビ和歌山の番組「あのじゅうよ～」で宮小学校のことが放送されました！】

上記の第118回番組で本校のことが放送されました。宮小学校や宮地区のことに詳しい地域の方をゲストに、宮小学校の「あのじゅう」について懐かしい写真や動画とともに振り返っています。 ※ネット上で「あのじゅうよ～」で検索、テレビ和歌山のHPから閲覧できます。以下のアドレスにアクセスし、閲覧することもできます。

<https://m.youtube.com/playlist?list=PLrCbiWeptbR5-0J5NpL0dg1L8y3Azj8C7>